

イチモンジハゼ

スズキ目ハゼ科

Tremma garmmistes (Tomiyama)

石川県カテゴリー 地域個体群

国カテゴリー なし

選定理由

暖海性の小型ハゼ類であるベニハゼ属の一種、日本海には本種だけが分布し、本県が北限の生息地。

形態

全長約5cm。上顎先端から背鰭、眼の後方から尾鰭基部に至る2本の褐色縦帯がある。

国内分布

太平洋沿岸の神奈川県から高知県、九州西岸、日本海沿岸では能登半島と隠岐諸島に分布する。

県内分布

九十九湾で2個体が採集されている。また1999年夏、輪島市鶴入で撮影されたビデオ映像で生息を確認した。

生態

岩礁の岩穴や亀裂の中など少し暗い場所を好む。本県沿岸においても越冬し、周年生息している可能性が示唆されているが、生活史の詳細は不明。

生息地の条件

小型種のうえ、生息場所がやや深いので、スキューバ潜水を用いなければ観察・採集は難しい。

生存の危機

生態が不明なので言及はできない。

特記事項

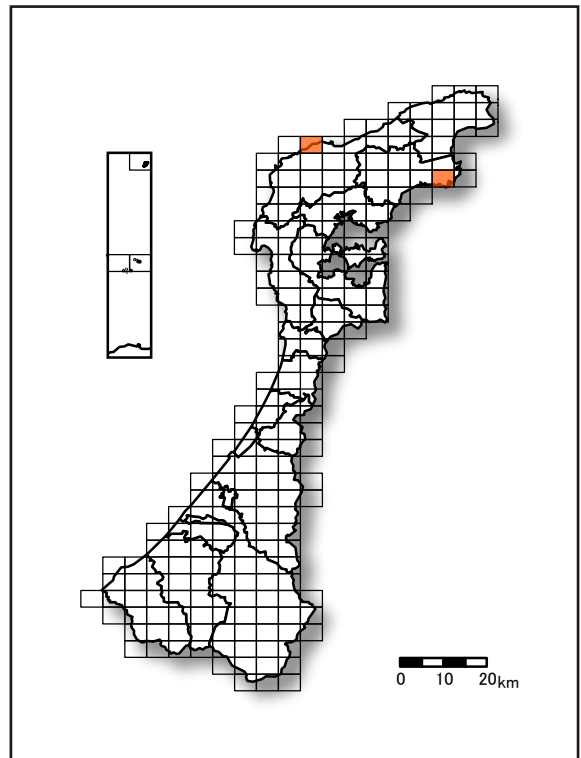
ハゼの仲間だが、左右の腹鰭は融合せず、吸盤を形成していない。

参考文献

坂井恵一. 1997. 九十九湾で採集されたイチモンジハゼ *Trimma garmmistes* (Pisces, Gobiidae). のと海洋ふれあいセンター研究報告, (3) : 43-44.



写真提供者: 坂井恵一



県内の分布